巻頭特集　朝日町立朝日小学校

涙と笑いに満ちた円形校舎

伊勢湾岸自動車道の北に位置する朝日小学校。一歩踏み入れてはじめに目を引くのが、丸みを帯びた白色の円形校舎です。高度経済成長期だった昭和37年に建てられ、朝日町のシンボルの一つとして地域に愛されています。50年以上、児童の成長を傍で見守り続けてきた校舎の魅力を教師や卒業生に尋ねました。

朝日町立朝日小学校
坂本豊治校長

伊勢湾台風の被害を受けて新たに建造した円形校舎

三重県内で児童数が最も多い朝日小学校。休み時間や放課後には児童たちのにぎやかな声が響き渡ります。

前身は明治7年に建てられた縄生小学校。木造校舎建てで7つの村の児童が通っていました。その後、合併や改称を経て昭和22年に朝日村立朝日小学校へ。しかし昭和36年、伊勢湾台風の影響により、校舎が浸水してしまいます。1億円以上（当時の金額）の予算を投じて木造校舎を解体。鉄筋コンクリート4階建ての円形校舎と、2階建ての角形校舎が建てられました。

一部に角形校舎を有するものの、円形校舎は他の学校とは異なる形をしています。「円形校舎は昭和30年代、建築家である坂本鹿名夫氏の手により全国に約100棟近く建設されました。しかし、ほとんどが取り壊され、現役で活用しているのは今では珍しくなりました」と話すのは校長の坂本豊治さん。教師・教頭時代も朝日小学校で教壇に立ち、児童と過ごしてきました。

朝日小学校の円形校舎は延べ面積が約2470平方メートルあります。1階には職員室や放送室、会議室などを設置。2・3階に図書室や理科室、音楽室があり、天井の四方に鉄筋が張り巡らされた造りの4階はホールを兼ねた体育館となっています。

円形校舎の利点は、建物中央が廊下の役目を果たすためデッドスペースが少ないこと。また、各教室の配置が放射状になっているため、どの教室も日が当たり、風通しの良い点があげられます。

一方で、増改築のしづらさや扇形の教室に大量の机を置けないなどの理由から、児童数の増加に追いつけず、徐々に姿を消してしまいました。丘陵地を開発してできた住宅団地への流入者が多かった朝日町でも、若い世代の人口が爆発的に増加。2010年の国勢調査では人口増加率35.3%を記録し、15才以下の子どもの増加率とともに全国1位となりました。

同年737人だった朝日小学校の児童数は、今年に入ると1001人に膨れ上がります。円形校舎は残し、敷地内に仮設のプレハブ校舎を建設して増加に対応。昨年には体育館とプールが完成しました。

独立の体育館を持っていなかったため、体育の授業や入学式などの式典はすべて4階ホールで実施してきた朝日小学校。校舎に慣れ親しんだ当時を懐かしむ卒業生は少なくありません。完成から50年以上が経ち、増築したものの、当初から円形は変わらず、児童の成長の場として活用されています。

上）白色を基調とした朝日小学校の校舎　右）5段と15段が交互にある階段が特徴　左）日当たりの良さが円形校舎の魅力の一つ。黒板下には通気口が設けられています

昭和44年、児童総出で「朝日」の人文字をつくりました。当時は小学校の周囲に高い建物が少なく、遠くからも円形校舎が見えたといいます

卒業生が見学に訪れる思い出が詰まった文化財

2015年、円形校舎は登録有形文化財に登録されました。「多くの児童にとって円形校舎は、日常風景にすぎませんでした。他の学校の友だちから『円形校舎は珍しいね』という話を聞き、有形文化財の登録も相まって、自分たちの学校に改めて誇りを持ったようです」と坂本校長はほほ笑みます。

社会科の授業の一環で、円形校舎の屋上に登り、自分たちが住む朝日の町並みを眺める時もあるそう。町の中心部に小学校があるため町全体を見渡せ、児童に人気の時間になっています。近年は体育館が完成したことで運動する場としてのホールの利用頻度が減ってしまいましたが、学年全体の活動や音楽発表の場として毎日利用しています。

「もう一度、円形校舎を見せてくれませんか」。帰省に合わせて訪ねてくる卒業生が多く、時代を越えて校舎が愛されている印象を受けます。扇形の音楽室や理科室、図書室。休み時間に友人とふざけて遊んだ廊下。人それぞれ、大切な思い出として残る場所は異なります。円形校舎には、ゆかりがある朝日町町民、携わる教職員、児童一人ひとりにとって、笑い、涙した数々の大切な思い出が詰まっているのです。

＼朝日小学校に関わりがある人・卒業生に、小学校の思い出や魅力を聞きました／

朝日町歴史博物館
あさひライブラリー館長
後藤勝則さん
（昭和52年度卒業生）

「私が通っていた頃の児童数は約800人で、1学年4クラスありました。町の文化祭は4階ホールでしていて、通っていた小学生だけでなく、地域のみんなのコミュニティーセンターのような存在でした」

前田里美さん
（朝日小学校
心の教室相談員）

「10数年、朝日小学校に勤務しています。優しく前向きな児童が多いですね。扇形の教室は開放感があり、黒板の見やすい位置も差異があまりないため、児童が教師を注目するには適していると思います」

中学1年生
一木颯太くん
（平成27年度卒業生）

「僕が在学していた時に登録有形文化財に登録され、驚いた記憶があります。大人になっても、朝日小学校に通っていた誇りを抱ける学校であり続けてほしいです」

児童会役員の皆さん

「円形校舎の音楽室や理科室は、どの席からも黒板と先生が見えやすいです。図書室も本棚が壁に沿っていて、本が選びやすく並んでいます。他の学校の友だちから円形校舎をほめてもらえると、うれしいです」

川崎建築設計室
川崎貴覚さん
（昭和41年度卒業生）

「円形校舎の中心部に廊下を設けることで共有部分が減り、動線が短くなります。経済性、機能性に優れているのです。温もりと安らぎを与えてくれる校舎が、朝日町のシンボルの一つとして、いつまでも残ってほしいと思います」

大矢知真由美さん
（朝日小学校
非常勤講師）

「2012年に円形校舎50周年を祝う学校集会が開かれました。会では地域の人を招き、児童たちが円形校舎の歌や詩を披露。多くの人が円形校舎を大切に思っていると互いに感じられた会となりました」

【Information】
朝日町立朝日小学校
住所／三重郡朝日町大字柿 750
問い合わせ／059-377-6111
（朝日町歴史博物館）
http://www.town.asahi.mie.jp/asahi-primary/

円形校舎を支える鉄骨の曲線が美しい4階ホール

文／南部武寛　写真提供／朝日小学校、朝日町歴史博物館、卒業生の皆さん　デザイン／ABBEY ROAD